

諏訪実業高校 全日制 令和7年度 学校評価表(自己評価)

学校番号47 長野県諏訪実業高等学校

学校目標			重点目標							
1 学校におけるあらゆる教育活動を通して、社会的資質の向上、キャリア能力の育成、個性の伸張を図り、真に豊かな教養と実践力を持つ社会人の育成を目指す 2 学力を保証し、人間的成長を保証し、進路を保証する高校を目指す。			1 専門分野を学ぶ意欲の醸成と基礎学力の定着 2 豊かな心から生まれるビジネスマナーの育成 3 地域社会を愛し活躍できる人づくりと進路の保証							
			今年度の重点目標 1 生徒が「実社会で信頼される人間」として自立し、進路実現を果たせるよう努めます 2 相手を尊重し、自己を肯定できる、丸く豊かな心を育てます ① いじめ・暴力のない安心・安全な学校をつくります ② 授業を大切に、生徒の基礎力と専門性を伸ばします ③ 他者と協働し、新しい創造を発信して、地域に貢献できる人材づくりを進めます ④ 生徒に、見通しを持たせ、わかるように伝え、共感的に関わるように努めます ⑤ 時間を守り、時間を有効に活用することができる生徒を育てます ⑥ 身だしなみを整え、あいさつと清掃を進んで行う生徒を育てます							
総合評価 〔成果と課題〕			〔改善策・向上策〕							
領域	対象	評価項目(具体的活動目標)	評価の観点	成果と課題				達成度 A B C D	改善策・向上策	
教育活動	Ⅰ 生徒指導 生活指導係	1 社会的資質・規範意識の向上	・安心・安全な生活環境の整備 いじめ・暴力・暴言の未然防止と、慎重・毅然な対応 ・交通安全意識の向上 ・法律・校則を遵守する意識の向上 マナー向上の促進 全職員による同一歩調の指導							
		2 健全育成	・他者への配慮ができる生徒の育成。 スマートフォンの適切使用について ・生徒との対話の尊重 問題行動の未然防止・早期解決 ・学年・クラス担任と連携し、生徒・保護者の心情・背景を踏まえた適切な問題行動への対処 ・指導の定着を図る事後指導 ・校友会、相談係、進路係との連携による、指導効果の向 ・アルバイトへの対処の推進 許可生徒への指導の充実							
		・教育相談係	3 相談と支援	・生徒の状況把握と情報の共有 ・組織的な支援 ・関係諸機関や外部機関との連携支援 ・校内支援体制の充実 ・いじめや不登校の予防と適切な対応						
			4 人権意識と仲間づくり	・人権意識に基づく学級経営 ・人権感覚の定着と向上						
		・保健係	5 健康・安全教育	・健康・安全教育の充実 ・生徒及び職員の健康支援 ・感染症予防と環境衛生の推進						
			・整美係	6 校舎内外の美化の推進	・進んで清掃に取り組む意識の構築 ・校内清掃徹底のための職員の監督・指導 ・ゴミ分別の徹底 ・整美委員会の自発的取り組みの支援					
		・校友会係		7 校友会活動の充実	・リーダーの育成と自主的で組織的な活動 ・委員会活動の活性化 ・校友会行事・文化祭の質的向上					
			8 クラブ活動の充実	・加入促進と各部の活発な活動 ・各種大会・コンクール参加に対する支援						
	Ⅱ 進路指導 ・進路指導係	1 進路意識の高揚および早期確立	・基本的生活習慣、学習習慣の確立 ・キャリアデザインに向けた進路行事の実施 (諏訪実ミニメッセ、経営者と語る会、 インターンシップ、各種講演会) ・面談を通じての状況確認、意識向上 ・卒業生の講演会による意識づけ (「先輩の話を聞く会」)							
		2 進路保障	・本人および保護者が納得する進路選択 (進路希望とその実現) ・企業研究会、企業見学会の機会保障 ・入試に向けた個別支援 ・面接練習の充実(全職員)							
	Ⅲ 学習指導 ・進路指導係	1 基礎学力の習得意欲・関心の喚起	・学習習慣の確立 ・授業態度、授業に臨む姿勢の指導 ・学習理解度の把握と定着への継続的指導 ・基礎学力診断テストに向けた取り組み、事後活用 ・朝学習週間の実施							
		・教育課程委員会	2 21世紀型学力の養成 新教育課程の検証	・科目指導法の研究と実践 ・シラバスの検証 ・昨年度の反省を踏まえた教育課程表の見直し及び学習 集団の再検討						
			3 観点別評価	・観点別評価の実践研究						
		・SPH後継事業推進委員会	4 SPH後の地域との連携	・地域で活躍する方々の講演会 ・諏訪実探究授業での実践 ・地域を舞台にした探究活動についての発表会 ・コーディネーターの設置						
	Ⅳ 専門科 商業科 会計情報科 服飾科	1 専門教育の改善・充実	・専門科目の学習目的理解と意欲の喚起 ・社会人基礎力や専門性を高める授業の実施と学習支援							
		2 資格取得の促進	・各種検定を利用した学習意欲の向上 ・進路活動を意識させた検定取得の促進							
		3 地域との連携	・各種取り組みの継続と発展 ・諏訪地域の文化・伝統をビジネスに活かす授業							
		服飾科	1 専門教育の改善・充実	・専門科目の学習目的理解と意欲の喚起 ・社会人基礎力や専門性を高める授業の実施と学習支援						
			2 資格取得の促進	・各種検定を利用した学習意欲の向上 ・進路活動を意識させた検定取得の促進						
			3 地域との連携	・各種取り組みの継続と発展 ・諏訪地域の文化・伝統を活かす授業						
学校運営	Ⅰ 教務係	1 学校活動全般の企画・運営	・情報把握および関係部署間の調整、対応 ・業務の整理、改善 ・校務支援システムの活用および情報の共有							
		2 広報活動の充実	・学校案内、学校要覧の発行 ・HPおよびマチコミメールの活用 ・中学生体験入学を含む開放事業の周知・充実							
	Ⅱ 地域連携 ※専門科以外	1 近隣へのボランティア	・環境美化の推進:整美委員を中心に学年(学級)単位で 通学路のゴミ拾い・除草を行う。(整美係) ・交通・生活・行動困難者への配慮と協力 警察・ボランティア団体との連携活動(防犯登録・施設調 査と改善呼びかけ)(生徒指導)							
		2 高校大学等との連携	・関係大学との研究協議・実践 ・授業体験への参加およびかけ							
		3 企業等との連携 ・進路指導係	・インターンシップ、諏訪実ミニメッセ、経営者と語る会 ・企業勉強会、企業説明会の推進 ・2年工場見学(諏訪市との連携) ・内定生徒と採用担当者との面談							
		4 中学校との連携	・他地区を含む中学校訪問等(教務)							

(注1) 各学年は、関係の分掌と連携し、目標設定および評価に加わる。

(注2) 学校評価委員会が取り扱わない領域及び対象領域の重点目標(活動目標)についても、各分掌で年度当初に基本方針を提案し、反省職員会(1月)に成果と課題および改善策・向上策を提案する。